



弓引き童子の実演をする九代玉屋庄兵衛氏（令和7年10月4日 順慶寺本堂にて）

今月の一枚

順慶寺だより

印刷・発行 順慶寺
2025年(令和7年)

11月号

VOL.385

◆◆ 公開講座の試み ◆◆

順慶寺では、年一回著名な先生を招いて、公開講座を開催している。これまでは、仏教のスペシャリストを招いていたが、今回は、仏教以外で伝統を大切にしているからくり師。「伝統とは、常に挑戦し続けた歴史」という言葉の通り、九代玉屋庄兵衛氏は、難しいからくりの復元に挑戦しつづける達人だった。

◆ 支配欲は正しいこと見失わせる ◆

今月の釈尊の言葉は、『ダンマパダ』より、
「大地の唯一の支配者になるよりも
天に至るよりも
全世界の主権者となるよりも
安らぎへの第一歩のほうがまさっている。」

(第七八偈)

からの出典です。

今月の言葉は、支配欲に対する、釈尊の戒めです。支配欲の強い人は、自分の思い通りに事柄を進めようとし、人のことを聞かず、細かいところまで注意するという特徴があると言われます。支配欲にとらわれていると、ハラスメントをしたり人の怨みをかうことも多いはず。もし、自らにそういった面があるならば、十分に注意すべきことです。

今回の出典は、釈尊が祇園精舎に住んでおられたとき、祇園精舎のもとを寄進した、①スダッタ長者の息子である、カーラについての話です。カーラは、釈尊の教えに興味を示さず、釈尊に会うことをしなかったので、父親のスダッタ長

今月の釈尊の言葉

唯一の支配者となるよりも
安らぎへの第一歩の方が
まさっている

まさっている

『ダンマパダ』
第178偈より

若院のテーマカット NO.76



者が、カーラの行く末を案じていました。そこでスダッタ長者は、カーラにお駄賃を与えて②布薩に参加させました。お金の効果もあって、カーラは布薩に出かけましたが、何も変化はありませんでした。次なる策として、カーラにお駄賃を与えて、釈尊のところに行き、教えの言葉（法句）を覚えてくるように言いました。カーラは素直に釈尊のもとを訪ね、教えを聞いていましたが、難しく全く覚えられませんでした。

そのとき、釈尊は、スダッタの親ごころを見抜き、法句を覚えられないカーラに、次々と法句を与えました。すると、様々な法句をいただ

く間に、カーラの心が安らいて、やがて聖者の境地まで達しました。そのことを喜んだスダツタは、カーラに大金を与えましたが、聖者となったカーラはそれを拒否したといっています。

◆執着から離れること◆

釈尊の譬の中で、執着を離れることを適切に教えた、有名な「^③筏の譬」とよばれる一節があります。

あるとき、釈尊は、弟子にこんな質問をしました。

「一人の旅人がいて、道を歩いていました。彼は大きな川のほとりにたどり着きました。向こう岸に渡るうと思っ

ても、橋も渡し船もありません。旅人は、川岸に生えている草木を使い、筏を作って渡ることにし、無事に向こう岸にたどり着くことができました。そ

のとき旅人は、「この筏は大いに役に

立った。せつかくなので、この筏を肩に担いで持っていくことにしよう」と思いました。

釈尊は弟子たちに、

「旅人のこのような行為は正しいでしょうか。」

と尋ねると、弟子たちは即座に、

「正しくありません。筏は置いていくべきです。」

と答えました。

すると釈尊は、

「私の説いた教えも、今は必要であっても、捨てるべきときには捨てなくてはなりません。」

釈尊は、どんなに素晴らしいものであっても、執着して放さないようにすると、次のステージには足かせになるのだと教えています。

安らぎに至るには、私を支配する執着から離れることを教えられます。

ているか確認するために必ず出席しなければならず、無断欠席は許されな

③「筏の譬」

中部經典第22「蛇喻經」の中にある一節。中部經典とは、パーリ語で書かれた五部の經典の二番目にあたる。五部とは

①長部（長編の經典Ⅱ長阿含經）、②

中部（中編の經典Ⅱ中阿含經）、③相應

部（テーマ別經典Ⅱ雜阿含經）、④雜支

部（概念別經典Ⅱ雜阿含經）、⑤小部（他に割り振られない經典）

①「スダツタ長者」

インドの古代・コーサラ国のシユラバスティ（舍衛城）の長者。祇園精舎を建立し寄進した。彼はよく孤独な貧者に食物などを施したので、給孤独（アナータピンディカ）と呼ばれていた。

②「布薩」

僧伽（僧団）に所属する出家修行者が、月2回、新月と満月の日に集まり、戒本を読み上げ、抵触していないか確認、反省・懺悔する儀式。戒律が実践され



順慶寺では、助音講というお勤めの仲間があって、毎月練習して熱心です。ご本山でもそうなんですか？



順慶寺で、助音講が組織されたのは、平成16年に蓮如上人五百回御遠忌法要を勤めるにあたって、門徒の皆さんで立派なお勤めができるように、住職が門徒さんからメンバーを募って始まったものです。

当初は、御遠忌法要だけの特別な集まりとして始めたのですが、助音講を指導して下さる安藤先生が、

「助音講は継続していくことに意味があるし、そうでない私は指導しません」

とおっしゃったことで、助音を毎月練習する助音講がスタートしました。すでに、組織してから二十年になります。

さて、御本山ではどうでしょうか。御本山では、声明作法の伝統を保持するため、中央声明講習会というものがあります。これは、二十歳以上の大谷派の僧侶に対する講習会で、いわゆる声明のプロを育成する会です。年間六十五名までの僧侶が申し込むことができ、二週間の日程で指導の先生から稽古をつけていただきます。三年で終了となりますが、特に優秀な人は、別科といわれる、さらに二年の講習を受けることも可能です。

御本山の報恩講にお参りすると、外陣の一番上に、何人かの僧侶が陣取りますが、その方が、いわゆる声明や儀式のプロにあたる方々です。みなさん、素晴らしい声でお勤めをされます。

《第六十七回 動物たちが教えてくれたこと》

順慶寺の境内にしばしば動物の糞が見られ悩みの種です。掃除をするのは母が私なので、何か対策はないかと調べてみたところ、動物避けの液体を撒くとういって書かれていまし

た。たまたま知り合いのお寺の

方にお会いした際、「困っているんですよ」と世間話のつもりで話したところ、「お寺なのに動物避けなんてとんでもない」と注意されてしまいました。

誰にでも「ようこそ」と迎え入れる心が、いつの間にか欠けていたのかもしれない。

お寺とともに

「熊」



このところテレビで熊の事件を見ない日がありません。ニュース映像は、テレビカメラの他に監視カメラや一般の方のスマホ映像などもあり、恐ろしい場面がまざまざと映っているのが本心に怖いのです。

自分が小さな頃は、まだ野犬がいて、激しく吠えられたり、時には追いかけられたりしたので、歳を取った今でも怖かったなあと思いがたされます。

それが熊となると襲われた方の恐怖たるや如何ばかりかと察するにあまりありません。

かつて山奥でどんぐりを食べている熊達。どんぐりが減って、里に下りると、甘いスイカや果物、生ゴミでさえ衝撃的な美味しさに脳みそが痺れるほどだったのでしょうか。もはや山奥で少ないどんぐりを食べて、いつもお腹ペコペコな生活には戻れない気がします。

人間ばかりが美味しいものを食べて便利な生活をしているのも勝手のことかもしれません。思うことはあるにせよ、日常生活がままならない地域の方を何とかしないと大変です。

駆除された熊の姿を見ると心が痛みますが地域の方々の安全が守られますよう祈るばかりです。

九代玉屋庄兵衛・末松良一の両氏

からくりの世界の真髄を披露

さる10月4日(土)、順慶寺公開講座として「からくりの世界」からくり人形の驚きと感動を開催し、百三十名以上の方が順慶寺本堂に会場しました。



プロジェクターを使って講演される末松良一先生

年に瑞宝中綬章を受けられています。からくり人形などの調査研究も行い、九代玉屋庄兵衛後援会会長も務められています。

二人と旧知の仲であった、池田会長が、世界中をからくり普及のために飛び回っている二人を、伝統を重んじる順慶寺に講師に是非お呼びしたいというこで、実現しました。

あいにくの雨の中、講座では、最初に末松先生が、からくりのしくみや歴

史などを詳細にお話され、続いて、玉屋さんのからくりの実演がありました。

玉屋さんが、持って来て下さったからくりは、茶運び人形や弓引き童子など。茶運び人形は、実際のしくみを説明してくださり、参加してくれた子供に実体験をさせて下さいました。

また、弓引き童子は、江戸時代のかからくり(機巧)人形の最高傑作の一つと言われ、台上に座った童子が、矢台から矢を抜き、弓につがえて的を目掛けて矢を射るのを、ゼンマイ、6枚のカム、紐によって制御される素晴らしいものでした。

超満堂となった本堂では、子供たちやからくりに興味のある方が、大いに喜んでいかれました。

護寺会奈良バス旅行

国宝の薬師如来を独占

さる10月10日(金)、順慶寺護寺会主催のバス旅行が、名古屋国際観光バスのバス一台で、奈良の旅が実施されました。参加者は30名。

曇り空の当日、10月に入っても暑い日の続くなか、何とかしのぎやすい日和となりました。今回は、大阪万博の関係で、日程が稲刈りの時期に重なり、参加者が30名と少なめになりました。

当日、朝8時にJA富士松支店を出発。一路奈良へ。最初の目的地は、薬師寺です。薬師寺は、薬師三尊像、聖観音像など歴史の教科書に出てくる国宝



説法の聴聞(薬師寺にて)

が勢揃いしているお寺ですが、当日は私たちのバス一台のみ。独占状態でした。説法をして下さる執事長も、力をいれてお話をしてくださいました。

お食事処なら和み館で昼食を頂いたのちに、午後からは、コスモスの咲き誇る般若寺を参詣し、最後には、奈良銘菓みむろ最中をお土産に帰りました。

10月度護寺会物語(敬称略)

浄涼院釋尼智香

9月28日寂 鈴木智恵子(95)

今川西組 鈴木淳二様の母

釋尼充純

10月4日寂 加藤みつ子(73)

知立市 加藤大介様の母

明遠院釋尼恵水

10月8日寂 鈴木ゑみ子(89)

市場上組 鈴木幸雄様の母

釋和顔

10月11日寂 岡本和夫(55)

名古屋市 岡本典子様の兄

釋尼幸華

10月24日寂 嶋村幸子(95)

高畑組 嶋村昭信様の母

5名の順慶寺護寺会員の方が生前の役割を終えられ、浄土におかえりになられました。合掌



編集部短信

◆池田正男氏夫妻、松の枯化に清酒寄進 山門の枯れ始めた松に栄養をと、池田正男氏夫妻が清酒五升を寄進。さっそく、住職が山門と庫裏前の松の根にお酒を施肥させて頂いた。

◆竹藪の除草刈り実施 〓 さる10月17日、責役の相木国男氏の竹藪にて、竹の除草を刈る作業をした。総代OBを中心に10名参加。

◆境内墓地クレーニングの網の取付完了 〓 本年度の護寺会予算案に計上されていた、順慶寺境内墓地前の側溝のグレーチングに金網をはる作業を実施。10月27日に終了した。

◆岡川経康氏から新米一俵 〓 泉田西組の岡川経康氏より、御仏供米に新米一俵を上納していただく。米価上昇

の中、心置きなく御仏飯をあげることができると、一族一同感謝。

編集雑記

昨今、葬儀に参加させていただくと、正信偈のお勤めする声小さくなったと感じています。私自身住職になった平成10年ころは、地の底からお勤めの声が聞こえると都会からお参りに来られた方が驚いておられました。が、今や、お寺の近くも都会になったということでしょう。このごろの順慶寺の目標は、正信偈を参詣者全員で唱和できること。今年の報恩講も、お勤めをしっかり厳しく勤めることが最大の目的です。(住)

急に涼しくなりました。急な気温変化に、お腹を冷やしてしまい少し腹痛気味です。季節の変わり目、体調には気をつけたいものです。(若)



11月の主な行事予定

編集・発行人
印刷・発行所池浦裕哉
順慶寺内真宗大谷派順慶寺
郵便番号 四四八〇〇〇四
愛知県刈谷市泉田町池ノ浦二連絡
電話 〇五八(二)一九二四
FAX 〇五八(二)五八三三
郵送 郵送料毎月別(年間千二百円)
振替 〇〇八三〇〇一六二六九会員
護寺会員には五百円にて
一年間郵送をいたします。インターネット
URL: <http://www.junkyoji.com/>
E-MAIL: support@junkyoji.com

日 曜	行 事 内 容	掃除当番
1 土	寺カフェ(9:00～、順慶寺本堂南落間他)	
	コーラス練習(14:00、順慶寺庫裏)	
	男女助音講(16:00、順慶寺本堂)	
2 日		
3 月	お楽しみ会(14:00、順慶寺本堂) 文化の日	
4 火	刈谷市仏教会防災協定締結(16:00、刈谷市役所)	
5 水		
6 木		木-1
7 金		
8 土	コーラス練習(14:00、順慶寺庫裏)	
	男女助音講(16:00、順慶寺本堂)	
9 日		
10 月		
11 火	おみがき・大掃除(8:30、順慶寺本堂)	
12 水		
13 木	花立て(8:30、順慶寺本堂)・お荘厳	木-2
14 金	当山報恩講 第一日目(13:00～)	
	こども報恩講(17:00～)	

15 土	当山報恩講 第二日目(午前・午後)	
16 日	当山報恩講 第三日目(午前・午後)	
17 月		
18 火		
19 水	同朋ゼミ(14:00、順慶寺玄関)	
20 木		木-3
21 金	21組主催・本山報恩講団参	
22 土		
23 日	勤労感謝の日	
24 月		
25 火		
26 水		
27 木		木-4
28 金	宗祖聖人御正忌御命日(7:00、順慶寺本堂)	
	現量委員会(19:00、順慶寺玄関)	
29 土		
30 日		
12/1 月	寺カフェ(9:00～、順慶寺本堂南落間他)	
12/2 火		

11月行事内容 詳細

当山報恩講

11月14日(金)～16日(日)

於：順慶寺本堂

順慶寺最大の法要、報恩講を護
寺会の総力でお勤めいたします。

本年は、初日には、夕方からこ
ども報恩講を開催し、二日目(コ
ーラスもあり)、三日目は通常の午前
午後の日程で法要を開催する予
定です。三日目の午後の法要は、三
河雅楽研究会の皆さまによる雅
楽の伴奏(附物)があります。

お斎接待は、二日目を今川・三河
地域、三日目を泉田・尾張地区の
お斎ご案内とさせていただきます
が、都合により別日につくことも
可能です。お抹茶接待もあります。

令和7年度当山報恩講日程

11月14日(金) 初日

13時～15時 ビデオ上映
17時～18時半 こども報恩講

11月15日(土) 第二日目

10時～12時 お勤め・法話
13時～15時 お勤め・法話講師・同朋大学講師 飯田真宏氏
◎お斎案内：今川地区・三河地域他

11月16日(日) 最終日

10時～12時 お勤め・法話
13時～15時 お勤め・法話講師・元名古屋大教授宇治谷顕氏
◎お斎案内：泉田地区・尾張地域他

お知らせ

●こども報恩講にプロ人形劇
今年のこども報恩講には、プロ
人形劇「ぶんぶく」がやってき
ます。どんなお話が飛び出すか
どうかお楽しみに。こども報恩
講では、今年もお楽しみカレ
ーリスを準備して待っています。
皆さん、こぞでお越し下さい。

●各戸お取越をはじめます
今年もお取越のシーズンがやっ
てきました。今年は、順慶寺の
報恩講が終了してから、住職と

若院が手分けして、名古屋、岡
崎地区から始めていきます。お
勤めさせていただくお宅には、
今年も事前にハガキを出して、
お日にちをお知らせします。

●刈谷市仏教会防災協定締結
来たる11月4日、昨今の防災に
対する自治体の取り組みの中で、
刈谷市仏教会と避難場所の提供
などの協力をする覚書の記した
協定書が正式に交わされること
になりました。

じゅんこのときめき歳時記

勤労感謝

みなさん、10月の中旬あたりから
急に涼しくなってきました。体調をく
ずしてませんか。

と変わったそうです。
ちなみに、働くは、「はたを楽にす
る」ことから来たという人がありま
す。自分の努力で、他の人が幸せにな
ってくれるなら、それに越したことはあ
りませんね。

夫の手も借りて

勤労感謝の日

中村一げ

